

99-248

問題文

40歳男性。心室頻拍・心室細動の既往歴がある。内科診療所にて、ピロリ菌の除菌を行うこととなった。また、同時に貧血があることを指摘され、除菌と同時に治療することとなり、以下の薬剤が処方された。

(処方1)

ランサップ 400 ^(注)	1日1シート 7日分
〔 注：ランソプラゾールカプセル 30 mg	1回1カプセル (1日2カプセル) 〕
アモキシシリンカプセル 250 mg	1回3カプセル (1日6カプセル)
クラリスロマイシン錠 200 mg	1回1錠 (1日2錠)
	1日2回 朝夕食後

(処方2)

酪酸菌錠 (宮入菌として) 20 mg	1回1錠 (1日3錠)
	1日3回 朝昼夕食後 7日分

(処方3)

クエン酸第一鉄ナトリウム錠 50 mg	1回1錠 (1日2錠)
	1日2回 朝夕食後 21日分
	(ピロリ菌除菌終了後に服用開始)

問248

処方された薬剤の作用に関する記述として、いずれの薬剤にも該当しないのはどれか。1つ選べ。

1. 酸性条件下で、 H^+ , K^+ -ATPaseを可逆的に阻害する。
2. 細菌のリボソームに結合し、タンパク質合成を阻害する。
3. 細菌のトランスペプチダーゼを阻害し、細胞壁合成を阻害する。
4. 腸内細菌叢を正常化し、整腸作用を示す。
5. 鉄欠乏性貧血患者において、血清鉄を増加させる。

問249

上記処方の中で、この患者の既往歴に対して最も注意が必要な薬剤はどれか。1つ選べ。

1. ランソプラゾールカプセル
2. アモキシシリンカプセル
3. クラリスロマイシン錠
4. 酪酸菌錠
5. クエン酸第一鉄ナトリウム錠

解答

問248：1問249：3

解説

問248

選択肢 1 ですが

ランソプラゾールはプロトンポンプ阻害薬 (PPI) です。PPI は、酸性条件下で不可逆的に H^+ , K^+ -ATPase を阻害します。可逆的にはありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ～ 5 は、正しい記述です。

以上より、正解は 1 です。

問249

心疾患既往があるため、クラリスロマイシンの服用に注意が必要です。クラリスロマイシンの代表的な副作用に QT 延長等があり、心疾患の既往歴がある患者には注意が必要です。

具体的には、薬を服用中にめまい、動悸、胸が痛むなどの症状がみられた場合にすぐに医師・薬剤師に連絡するよう指導すること が必要であると考えられます。

参考) (心室頻拍 の PDF へ)

以上より、正解は 3 です。